

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	美咲町役場	代表者名	青野 高陽
担当者部署	政策推進監	連絡先電話番号	0868-66-1111
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	709-3717 岡山県美咲町原田1735		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	若手職員の発言をうまく引き出していただき、
アドバイザーへの要望事項	若手職員がアドバイザーを信頼しており、自由闊達な議論が生まれつつあり、引き続き事業計画策定にご助力いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月19日	9時00分	16時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	美咲町役場		最寄駅	JR亀甲駅
	所在地	岡山県久米郡美咲町原田1735			
	最寄駅からの交通手段	徒歩1分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可
------	------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・SNSを活用したPRができていない。 ・関係人口創出事業を実施したいが知見が無い。 ・RPAを導入したいが知見が無い。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・SNSを導入した効率的な広報 ・関係人口を創出し、これまでできていなかった町のイメージアップを図る。 ・RPAを活用した効率的な事務の導入	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・SNSについては、前回アドバイスされた子育て情報SNSについて準備状況を報告した。アドバイザーからは、効果的な発信のため、誘導先(HP)魅力情報の蓄積(別SNS)が必要であると助言された。 ・関係人口創出事業については、若手職員から意見を引き出した。 ・RPA導入にあたっては、他自治体の事例を参考にし、まず最初にRPAありきではなく、業務の洗い出しを行うことを勧められた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・SNSについては、魅力ある発信方法について今後研修を行う予定となった。 ・関係人口創出事業については、事業の方向性が定まり、今後総務省事業に応募するべく作業を始めることとなった。 ・RPAについては、最初に成功モデルを一例作ることを示唆いただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・RPAについては、働き方改革の観点から改めて議論する必要性を関係者が認識することとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 政策立案の指導であり、アンケートを不要と判断したため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

